

第23回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成23年2月

応募者名: 東京都 建設局

事業の名称: 東京都市計画道路
補助第197号線整備事業(行幸通り)

実施都市名: 東京都 千代田区

事業目的

本路線(行幸通り)は東京駅と皇居を結ぶ、延長190m、幅員73mの地域幹線道路である。また、行幸通りは皇室の公式行事や外国大使が信任状捧呈式の際の馬車列などに使われる由緒ある道路である。

本路線を含む東京駅丸の内周辺一帯の整備においては、首都東京の「顔」として歴史と文化を生かしたうるおいと風格ある街並みとなるよう質の高い整備が求められる。

整備にあたっては、専門家等の委員で構成する会議での検討結果を踏まえ、首都東京の玄関口としてふさわしい、品格のある道路空間の創出や、ヒートアイランド対策など都市環境改善に資する街路へと再構築する。

単なる交通の枠を超えた道路利用を促し、都市における道路の可能性を高めるとともに、新しい街路の先駆けとする。

事業概要

事業名称:東京都市計画道路補助第197号線整備事業

路線名:補助第197号線(行幸通り)

事業箇所:千代田区丸の内一丁目～同区丸の内二丁目

事業延長:190m

幅員:73.0m

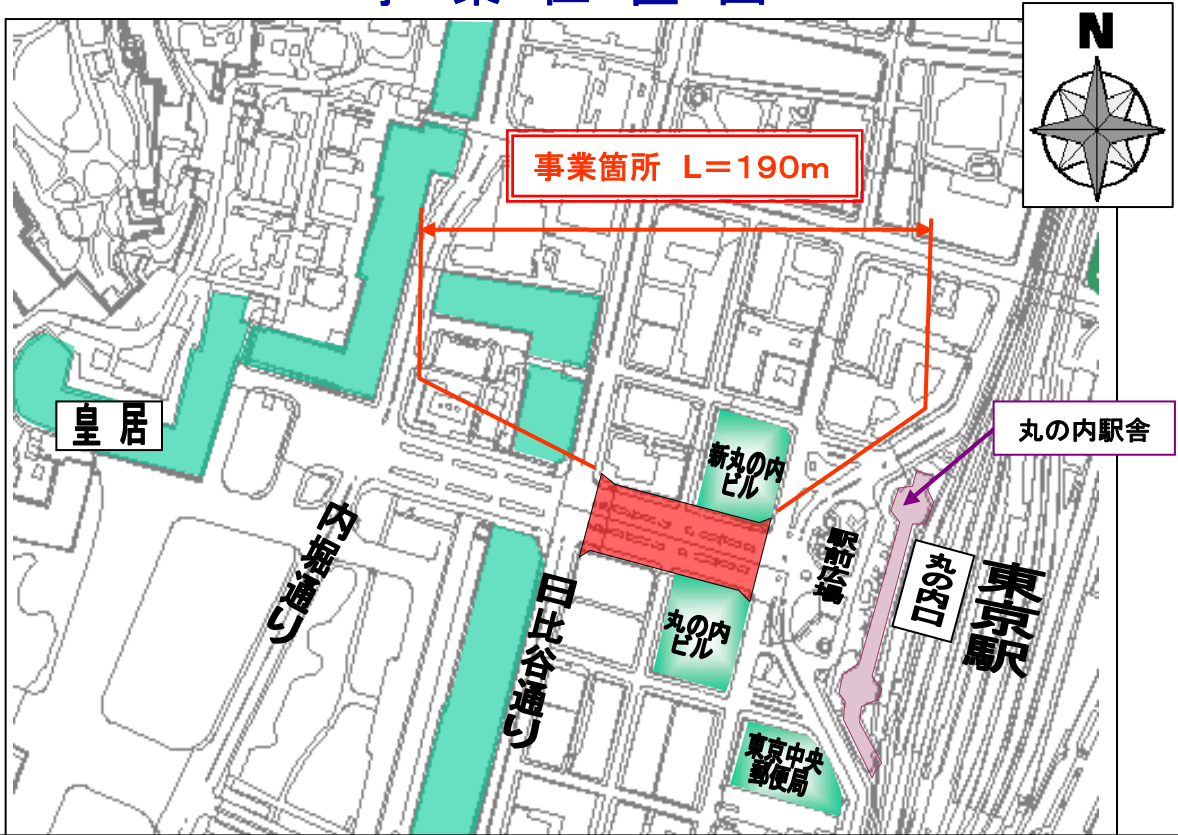
事業費:約4億6千万円

事業実施期間:平成20年～平成21年

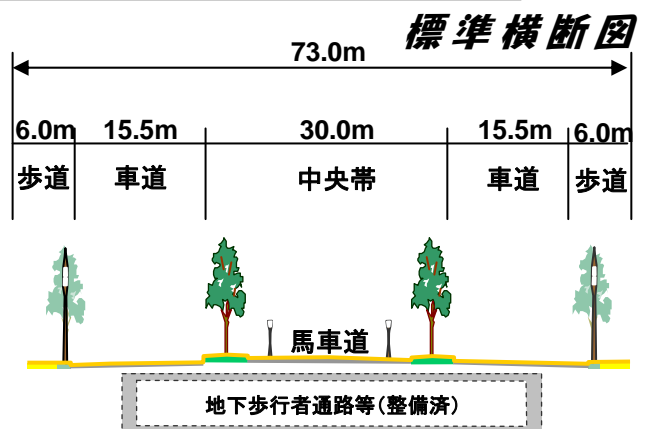
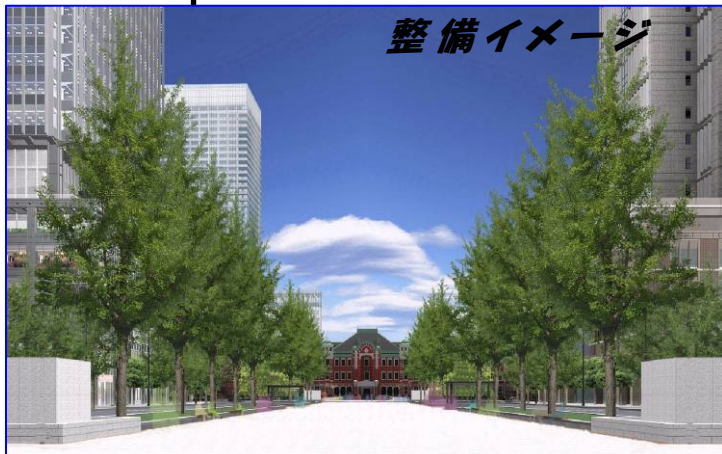
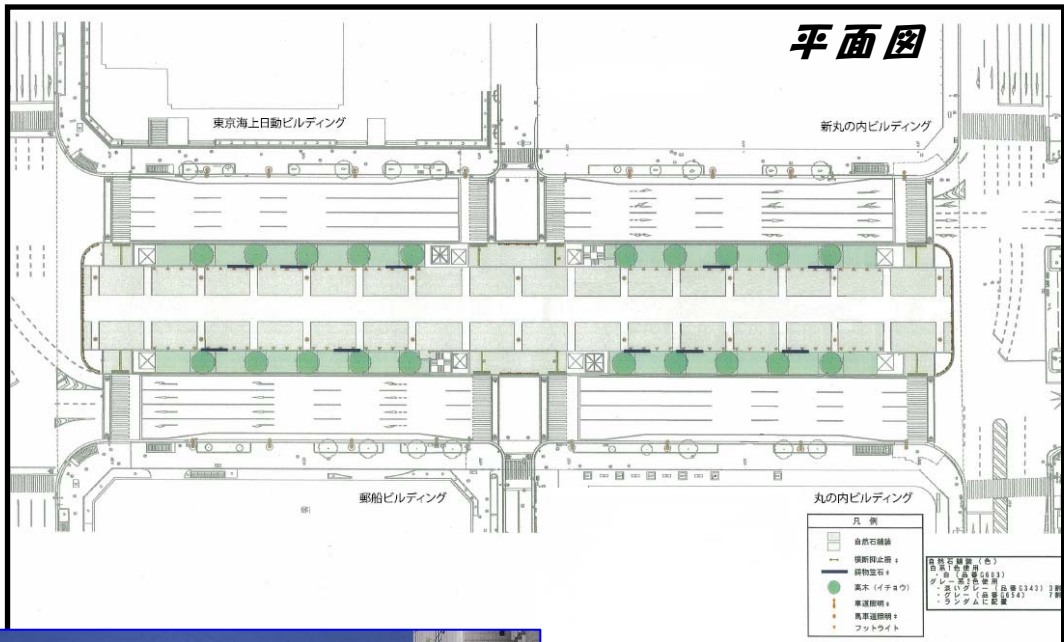
本路線は東京駅と皇居を結ぶ、延長190m、幅員73mの都市計画道路であり、並木に挟まれた道路は、皇室の公式行事や外国大使の信任状奉呈式の車列に使われる由緒ある道路である。

本路線の整備にあたっては、東京駅駅舎・駅前広場・行幸通りと新丸ビル等の周辺建物からなる東京駅周辺地区を一体的に捉え、専門家、地元地権者等で構成した検討会「東京駅丸の内周辺トータルデザイン検討会」の結果を踏まえ、4列並木の復元、中央帯部の馬車道舗装の改善等修景整備を行うとともに、車道を保水性舗装とし、散水設備を設けるなど環境対策も充実させた。

事業位置図



全体図(平面図・側面図・横断面図)



補助197号線の整備効果アピール資料

○事業概要

事業名: 補助第197号線整備事業
路線名: 補助第197号線(行幸通り)
事業箇所: 千代田区丸の内一丁目～同区丸の内二丁目
事業延長: 190m
幅員: 73.0m
総事業費: 4億6千万円
事業期間: 平成20年～平成21年



○各種イベント状況

- ・打ち水プロジェクト2010
打ち水プロジェクト2010実行委員会主催300人参加
- ・光都東京LIGHTOPIA2010
光都東京実行委員会主催 約200万人来訪
- ・新丸の内ビルディング・丸の内駐車場
(2010年度総合防災訓練)
新丸の内ビルディング共同防火・防災管理協議会
主催300人参加

光都東京・LIGHTOPIA2010



打ち水プロジェクト2010



「整備効果」

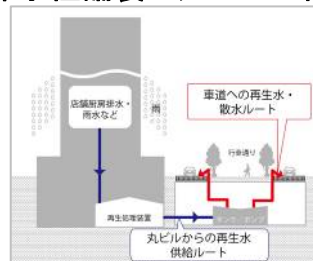
○これまで閉鎖管理されていた中央部分(幅員30m)が格調高い空間に生まれ変わり、宮内庁の公式行事の他多数の国民が集うイベントに利用されている



○東京駅舎の復元、丸ビル、新丸ビルの建替との相乗効果により、一体性のある都市空間の形成、風格ある首都東京の「顔」が創出された

○官民協働のヒートアイランド対策「保水性舗装&丸ビルの再生水を活用した散水」

⇒夏期の舗装表面温度-10℃



「その他の事業効果」

○常時も馬車道や歩道は観光での来訪者や、地域で働く人々が、眺望を楽しむ緑豊かで潤いのある空間として開放された
・交通の枠を超えた道路利用の先駆けとなる新しい街路が整備された



事業前写真

平成20年3月撮影

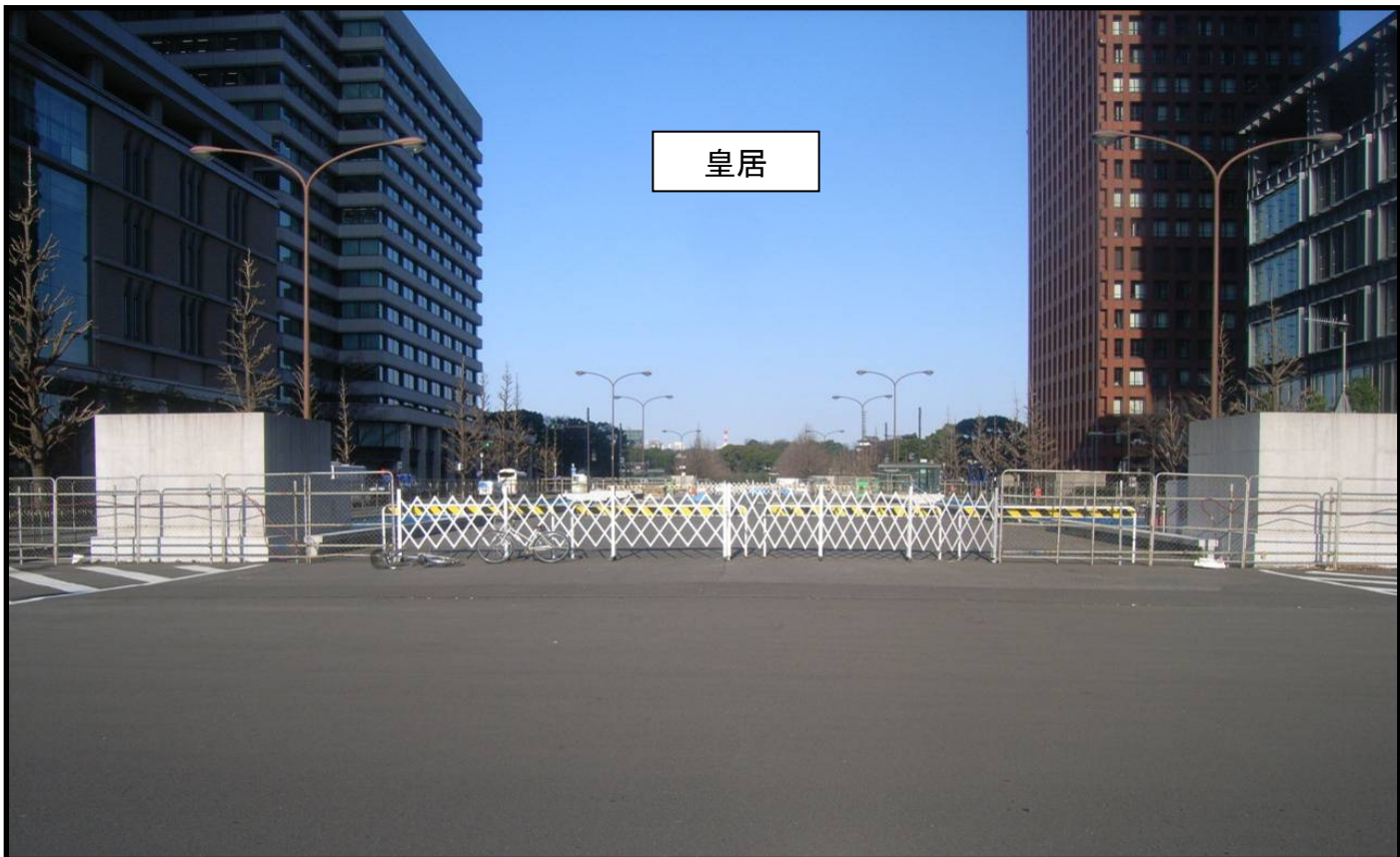
新丸ビル

丸ビル

東京駅



皇居



事業後写真

平成22年4月撮影

新丸ビル

丸ビル

東京駅

平成22年6月撮影

皇居